令和４年７月 26 日
魚沼農業普及指導センター
電話：025-792-1309
FAX ：025-792-9006

コシヒカリ生育情報　第７号

葉色は依然、淡い！後期栄養対策が必須！
確実な穂肥施用と水管理で栄養維持！

【７月 25 日生育状況】（３か所平均）

平均田植日	葉色（SPAD）	
	本年	指標値差
５月 19 日	31.3	−2.3

○指標値比較【　葉色：淡い　】
・１回目穂肥で葉色が維持・回復しているほ場もあるが、依然として指標値に比べて葉色が淡い。

・今後も高温による栄養凋落が懸念されるため、２回目穂肥の確実な施用と水管理の徹底を図る。
・コシヒカリの出穂期は、当初予想（８月３日）よりも遅れ「８月６日頃」の予想（5/20～5/25 植えを想定）。

【今後の管理のポイント】

１　２回目穂肥は必ず施用

（１）分施体系は、後期栄養を維持するため出穂期 10 日前に確実に施用する。

予想出穂期	穂肥２回目		２回合計窒素量（kg/10a）
	出穂前日数	施用時期	
8/6	10	7/27	１～３

２　「こまめな水管理」で稲体の活力維持

飽水管理を実施し、葉色の維持に努める。

３　葉色が淡いほ場での追加穂肥（３回目穂肥）

２回目穂肥施用後も葉色低下が見られるほ場や葉色がさめているほ場は、追加穂肥を検討する。

区　分	追加穂肥が必要な稲姿	施肥時期	施肥量の目安
分　施	【化学肥料使用】 出穂期３日前の葉色が SPAD 値 31 以下（葉色板 単葉 4.0）以下の時 【有機 50%肥料使用】 出穂期６日前の葉色が SPAD 値 33 以下（葉色板　単葉 4.4）以下の時	出穂期３日前まで（走り穂が出る頃）	窒素成分 1kg/10a 以下
基肥一発	【化学肥料使用】 出穂期までの葉色が SPAD32～33（葉色板 単葉 4.2～4.4）を下回ると予想される場合	出穂期 10 日前まで	

４　病害虫防除の徹底

（１）管内でもいもち病に弱い品種で、いもち病の発生が確認されている。また、いもち病の感染好適条件が観測されている（7/22、7/24）。葉色の濃いところを中心に葉いもちの早期発見に努め、病斑が見られたら、速やかに防除する。
（２）斑点米カメムシ類防除のため、農道・畦畔の草刈りや水田内雑草の除去を徹底する。